

## 第七十六日目

師 範：日本の経済は、大戦が終わって、ヨーロッパの国々が復興してくると、輸出がふるわなくなり、輸入が増えだしました。



輸出の方が輸入よりも多くて景気がよい時期は1919年まででした。

それでも貿易額全体は増加していました。

しかし1921年になると激減し、戦後恐慌と呼ばれる状態になりました。

たいへんな不景気になってしまいました。

苦しんでいるさなかの1923年に、神奈川県・東京都を中心に関東大震災が襲いました。

振動による倒壊と津波の被害と火災が多くの人命と財産を奪いました。

### 1923年 関東大震災がおこる。

この年を覚えましょう。

コン太：それでは



#### 「特に避けたかった関東大震災」

「とくに」は192、「さ(けた)」は3です。

師 範：ストレートに短く言えましたね。

震災の復興の資金に、裏付けをする震災手形というものを発行しました。

この震災手形の処理がうまく行かなくなり、経済を混乱させていきました。

追い打ちをかけるように、6年後には、世界恐慌の大きな波が日本経済を飲み込んでいきます。

ペン太：次は



#### 「遠くに惨状を見る東京焼け野原」

「とお」は10、「く」は9、「に」は2、「さん(じょう)」は3です。

東京は火災で燃えつくし、遠くまで見る事ができたそうです。

#### 「関東の遠くに見える震災の跡」

でもいいかな。

師 範：後の方が、五・七・七となっていますね。